



令和6年12月20日
山田小学校 CS 事務局発行

令和6年度 第2回学校運営協議会が 開催されました

令和6年10月30日(水)、山田小学校地域ボランティア室にて、第2回学校運営協議会が開催されました。この度は、新潟市教育委員会 生涯学習推進課 指導主事 小森康貴 様も同席されたの会となりました。第1回と同様、第1部として、5時間目の学習の様子を参観していただきました。自分の考えをノートに記している子どもたちの姿や友達の話に耳を傾けている子どもたちの姿を見て、みなさん感心されていました。また、絵画作品展の期間中ということもあり、子どもたちの力作もご覧いただきました。どの作品も画面構成や色遣いに一人一人の工夫が感じられると話されていました。

第2部 運営協議会

(1) 開会の挨拶 [校長]

今年度計画している学校行事や学年行事は、予定どおり実施できており子どもたちは様々な教育活動に取り組んでいます。そういった行事以外の日々の学習活動の積み重ねが大切です。学力向上、心の教育、健康・体力向上、特別支援教育の日々の取組について、ご報告させていただきます。これらの取組は、学校だけではなく、保護者、地域の方の子どもたちの安全の見守りや学習支援ボランティアなどの大きな力があってのことです。心配な点としては、昨年度、今年度と登校中の人間関係のトラブルがあることです。今後、集団登校について見直していきたいと考えています。



<各委員の皆様から>

- ・各家庭の事情もあるので、集団登校の見直しは良いと思う。
- ・登校班がなくなることで、“一緒に登校する子がいない”といった状況になる子どもが出てくる可能性も考えられる。その時の子どものケア（フォロー）が必要ではないか。
- ・集団登校時に比べ、今までよりも子どもたちがバラバラと通過することになるが、交差点など安全面の確保は可能か？



- ・時間の決まり（何時までに登校するなど）をつくれば、大丈夫ではないか。集団登校をなくすということではなく、選択肢が増えるということで、見直しについて賛成である。

<学校より>

- ・見守り隊や交通安全推進委員などからの意見として、「集団登校なのに班がバラバラである。交差点横断の際、列のどこで切ったらよいかわからない」といった意見が出ている。
- ・登校の方法については、保護者だけでなく地域の方々への周知も大事だと考えている。様々なご意見を踏まえて校内で検討を重ね、保護者・児童・地域への周知を図っていく。

(2) 協議

ア 前期学校評価について各担当より、前期の評価結果を報告

<質問・意見>

学力向上について

他の意見と自分の考えをつなげることや既習を生かしていくことに自信をもち、子どもたちの学ぶ意識が向上していると感じた。何がよかったか、分析できていれば教えてほしい。

→子どもたちがとても素直で、明るい子が多い。自然と意見を伝え合っており、学習する土台がしっかりとできている。

健康・体力向上について

なぜ肯定的評価「あてはまる」と答える子の割合を50%以上としたのか。

→今年度の指標を設定する際、意欲的に取り組んでいると自信をもって答えられる児童が半分はほしいという願いがあった。

特別支援教育について

「UDL 10」について、詳細を教えてほしい。10項目すべてできて何%なのかという評価基準に設定しているのはとてもすばらしいと思う。

イ 次年度の学校運営の基本方針への要望

- ・子どもたちの熱中症対策を踏まえた活動はどのようになっているのか。

→熱中症指数を基に、体育の実施方法や休み時間の使用場所（グラウンド、体育館）、決まり（時間や水分補給など）などを決定している。

ウ 地域・家庭・学校の連携について（グループワーク）

黒崎中学校区で目指す子どもの姿を実現するために、学校と地域が一緒にできること（活動や取組）はなにか、育てたい子ども像や地域の目指す姿などについて、意見を出し合いました。



Aグループ

課題 地域とのふれあいを含めたコミュニケーションの場の減少。

対策 日常的に挨拶をする、一緒に防災訓練等を行うなど。

Bグループ

課題 子どもの思い(考え)と地域(大人)の思い(考え)をすり合わせる場があるとよい。

対策 今回のようなグループワークを定期的で開催したり、防災への取組について、黒埼地区全体で交流したりする機会があってもよいのではないか。



(3) 新潟市教育委員会より [小森康貴 指導主事]

- ・ コミュニティ・スクールについての説明。
- ・ 地域と学校パートナーシップ事業との一体的推進について (具体例等をふまえて)。
- ・ 本日のグループワークについて。

課題解決に向けて、学校・地域等がそれぞれ何をしていけるか(役割分担)を話し合うことが大切。

(4) 閉会の挨拶 [高橋運営協議会会長]

リサイクルバザーなどの行事を通じて、ぜひ、小学校へ足を運んでほしい。それらのことによって、コミュニケーションの機会も増え、災害時にも対応しやすくなっていくと考える。